

平成 27 年度事業報告

I 施設

A 利用者及び訓練の状況

1 利用者の状況

(1) 社会復帰のための訓練を受けている利用者の数は、年度当初 20 名（入所 16、通所 4）年間で 1 名の退所者、3 名の新規利用者があり、年度末の 3 月末現在 21 名で、月平均 21.1 名でした。

(2) 入院 4 名です。

2 性別、年齢別、入所期間等による利用者の状況

(1) 利用者は男性 14 名 女性 7 名、平均年齢 53.2 歳、50 歳以上が 13 名います。入所期間は平均 4.4 年で、5 年以上が 7 名います。利用者の高齢化と入所期間の長期化が進んでいます。

(2) 障害等級別では 1 級 16 名、2 級 4 名、3 級 0 名、4 級 0 名で、障害程度区分では、区分 2—1 人 区分 3—6 人 区分 4—9 人 区分 5—2 人、区分 6—1 人です。区分なし—2 人

(3) 出身地別では埼玉県が 15 名、東京都が 2 名、その他関東近県が 4 名です。

(4) 収入の状況では障害年金受給者が 9 名、生活保護受給者が 5 名、その他 4 名です。

(5) 家族関係では、家族がいる者 10 名、単身者 11 名です。

単身者の高齢化と入所期間の長期化の傾向が現れています。

3 利用者と疾病との関係

(1) 施設の設置理由でもあるベーチェット病や糖尿病など慢性疾患をもった視覚障害者が一定の医療的管理を受けながら訓練を受けられるという当施設の状況は現在でも変わりません。

(2) 疾患別では、糖尿別患者 12 名（透析者 5 名）3 月末現在、ベーチェット病は 1 名です。

(3) 施設診療所（江南施設）での診療は、東京都糖尿病協会から専門医が月 1 回、東京女子医科大学病院の眼科から月 1 回、日本大学板橋病院の石川弘先生が眼科嘱託医として月 1 回、と共に透析者を対象とした眼科診察を年 4 回実施し、理事長が内科嘱託医として月 1 回、診察を担当しています。

(4) 上記診察日以外と別の診療科への通院は、科及び回数とも前年度よりも増えています。

また、精神科受診者が 4 名おり、医療機関との情報交換に費やす時間も増えています。

- (5) 家族の援助が受けにくい単身者が多いことから通院に職員の介助を必要とするケースが増えています。なお、職員による送迎は緊急時以外は片道のみとし、あとは福祉タクシーを利用しています。
- (6) ほとんどの利用者が服薬治療をしていますが、職員が服薬を確認しなければならない者はいません。

4 支援計画と将来の進路など

- (1) 利用者の支援に対する基本的な考え方は次のとおりです。

- ①視覚障害及び疾病を克服し、自立した社会生活をおくれるよう指導援助する。
- ②職業的社会復帰ができるように指導援助する。
- ③指導援助に当たっては、基本的人権を尊重し、個性及び自主性を尊重する。
- ④個人の置かれた状況に応じて個人の特性を生かした個別の支援計画を作成し、利用者と協議して作成した、具体的な訓練スケジュールに従って指導援助を行う。

- (2) 各事業の所属者は次のとおりです。

- ①生活介護 13名
- ②機能訓練 5名

- 5 生活介護事業及び機能回復訓練を円滑に行うため、箱の組み立て、ペット用材の組み立て、施設内コーヒー販売などを行いました。また、新体系になり工賃の支払いをしました。
- 6 施設での生活をより楽しくするために、レクリエーションなどを実施しています。春の「おにっこ祭」やモンキーマジック・バランスボール・タップダンスをはじめ、各種レクリエーションを実施しました。また今年度も継続して、寮内でインターネットを利用した読書ができるようにノートパソコンの貸し出しを行いました。
- 7 安全対策を実施しました。
施設の建物や設備、電気設備など各種点検、水質などの検査を実施しました。
- 8 嘱託医や契約医療機関と連絡しながらインフルエンザ予防接種を実施しました。
- 9 解決第3者委員を選任し、利用者の苦情解決に努めています。
- 10 今年度も食費の自己負担の軽減策を実施しています。
自己負担が4万円を超える金額の2分の1を施設で負担します。5万円を超える場合は5万円を限度とします。
平成28年3月現在8名が対象となっています。

B 職員状況

- 1 平成28年3月現在の職員の状況はつぎのとおりです。
常勤9名（施設長、サービス管理者、事務員、栄養士、看護師1名
支援員4名）非常勤6名（支援員6名、看護師1名）
- 2 職員が研修、見学などに参加することを積極的に支援しました。

その他

- 1 熊谷市社会福祉協議会主催のボランティア体験、地元中学校の職場体験などの受け入れを行いました。

II 本部の活動状況

1 理事会・評議委員会の開催

- (1) 平成27年5月27日、第1回理事会・評議委員会を開催しました。出席者数は理事5名、評議委員10名、監事2名（定員は理事6名、評議委員13名）主な審議内容は平成26年度事業報告、平成26年度決算報告、及び監事による内部監査の報告。

- (2) 第2回理事会・評議委員会

平成27年10月5日

出席者は理事6名（定員6名）評議員12名（定員13）

審議内容は次期役員・評議員の選任

- (3) 第3回理事会・評議員会

平成28年3月29日

出席者 理事5名（定員6名）

評議員10名（定員13名）

- ①理事長選任
- ②理事長代理者選任
- ③平成28年度 事業計画
- ④平成27年度 資金収支決算書補正
- ⑤平成28年度 資金収支決算書予算
- ⑥監査指導事項及び改善報告書
- ⑦法人名、施設名変更について

2 監事による内部監査の実施

平成27年5月26日、監事による平成27年度の業務監査と会計監査を行いました。

3 賛助会員の募集

利用者の減少や障害者総合支援法などによる収入の減少に対応するために関係団体や関係者に賛助会員としての支援を求めました。平成27年度の寄付金総額は697,000円です。

4 広報活動として、会報の発行(2回)とパンフレットの配布(福祉事務所、医療機関、相談支援センター等)を行いました。